

令和五年度 修士論文・卒業研究題目一覧

卒業研究

修士論文

大池ゼミナール

現代における掛け軸の使われ方と存在価値

日本文学・日本語文化専攻

近代中国語における日本漢語の借用

常用漢字と常用漢字教育について

加唐杏美
川島穂菜美

——中国の雑誌『集成報』を中心に——

『新明解国語辞典』第八版 増補項目における理由の考察

トウ ミツ (唐 蜜)

後藤沙苗

懷素の作品から見る、

歴史文化専攻

書道家の性質と作品の結びつきについて

中近世移行期の伊勢角屋と太平洋海運

西山

翼

——狂草作品を例に——

鈴木汐音

高芙蓉と篆刻

鈴木桃花

藤原俊成と藤原定家の書の比較

鈴木悠仁

戦国時代楚、越における鳥蟲書

戸松俊介

明末清初の狂草の流行における社会背景

細川詩音

蘇軾の書

——「黄州寒食詩卷」の研究——

松枝哲大

太宰治の作品に私生活や時代背景が及ぼす影響について

—— 中期を中心に ——

宮 口 香 織

本歌取りにおける男女の視点の違いについて

勝亦ゼミナール

『竹取物語』における月とはなにか

—— 『万葉集』を通して ——

石 樽 紗 和

『源氏物語』夕顔巻「顔をもほの見せたまはず」考

—— 袖説と覆面説から ——

内 山 恵 里

『百人一首』の撰歌意識

—— 和歌と定家 ——

大 西 那 瑞 菜

『蜻蛉日記』とコミュニケーション

—— 和歌と衣装描写に関して ——

大 村 利 美

『更級日記』における夢の役割

在原業平は本当に「イケメン」だったのか

可 児 悠 太 朗

甘露ゼミナール

平安文学における「梅花」の受容

—— 「紅梅」と『枕草子』を中心に —— 笹 尾 まどか

『源氏物語』における未摘花の人物像について

白 岩 海 優

『竹取物語』における異郷への憧憬と排除 谷 村 瑞 紀

『源氏物語』における螢兵部卿宮論 長 谷 川 美 里

『とりかへばや物語』における

女主人公の主人公性について 羽 田 野 真 由

『紫式部日記』論

—— 紫式部の女房批評と消息文に込めた思い ——

早 川 颯 太

『伊勢物語』における女の姿について 真 殿 侑 那

『源氏物語』における明石の君の性格の特徴と

心理描写から見る母親像 水 野 太 雅

『土佐日記』の日記としての文学性を探る 渡 邊 紗 永

『ぼっち・ざ・ろっく!』の漫画制作の意図

—— 『けいおん!』の成功を受けて ——

森 香 恋

男性モデルによる化粧品CMの比較と化粧品の変遷

数 森 沙 羅

アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』と

『けいおん!』の表現比較

——ライブシーンを中心に——

伊 藤 大 貴

後藤ゼミナール

現代における「微妙」の意味変化について

石 井 花

高程度を表す字音形態素「猛・極・絶・豪」と

「超」の比較

市 村 成 太

若者を中心とする「やばい」の使用実態とその分析

倉 富 春 花

形容詞「少ない」の使用制限について

下 方 里 紗

「失笑」と「にやける」の意味変化について

田 立 梨 紗

バスケットボールの実況解説の分析

——展開速度の遅いスポーツとの比較——

近 松 杏 奈

類義語「やっと」と「ようやく」についての研究

辻 はるか

SNSにおける「死ぬ」の意味拡張について

中 根 泰 智

現代からみるオノマトペ「ふわふわ」の意味調査

林 杏 奈

昭和後期から平成初期にかけての

女兒向け広告における文体の特徴

「姑息」の意味変化について

山 本 歩 佳

「ふつつ」の意味・用法の変化

川 浦 夏 歩

丹 羽 彩 乃

酒井ゼミナール

夏目漱石『坑夫』論

——「無性格論」「非小説論」の作為性——

遠 山 健 人

吉本ばなな『キッチン』論

——作中の「光」をめぐる——

形 岡 千 聖

菊池寛『火華』と蒲郡

—— 通俗小説 で宣伝された地方都市 ——

鴨 下 萌 花

江戸川乱歩作品における差別表現と

それを取り巻く社会状況

楠 本 峻 也

プロレタリア作家としての徳永直の人間性

—— 『妻よねむれ』の二つの主題をふまえて ——

澤 木 優 真

太宰治『斜陽』における「貴族」

—— 「貴族」の正体 ——

庄 司 瞳

『草枕』とケルト世界

鈴 木 愛 未

大岡昇平『野火』を読み直す

—— 「戦後文学」に限定されない戦争文学 ——

田 島 瑞 貴

トマス・ハーディ『グリーンブ家のバーバラ』と

谷崎潤一郎『春琴抄』

服 部 礼 夢

『ふるさと』に對峙する「語り」

—— 坂口安吾『夜長姫と耳男』論 —— 花 里 妃央梨

小説『ハリー・ポッターと賢者の石』の構造

—— ストーリーとキャラクターの視点から ——

松 野 裕 介

二人の作家と南京

—— 芥川龍之介と谷崎潤一郎 ——

三 浦 育 真

福永武彦『忘却の河』考

—— 藤代が抱く罪の意識と再生 ——

森 下 新之輔

小説の実写映画化における主題の描かれ方

—— 有川浩『図書館戦争』シリーズを題材として ——

山 本 莉 子

映画『讃歌』と原作小説『春琴抄』

—— 美に拝跪する原作と生きた人間を描いた映画 ——

若 杉 佳乃子

小川未明『牛女』にみる母の情念

—— 死者がもたらす祟り ——

渡 邊 南央子

『すずめの戸締まり』における舞台地と宗像三女神

大 坪 里 菜

徳竹ゼミナール

絵巻に描かれる人物の所作に関する考察

——『信貴山縁起絵巻』を中心に—— 足 助 達 紀

絵巻物からみる中世文化の変遷 加 藤 祐 人

白拍子祇王・祇女・仏と静の描かれ方

——『平家物語』諸本から少女漫画まで——

高 井 智 世

アイヌ文化についての研究 丹 羽 勇 介

中川ゼミナール

アメリカと日本の電子書籍から見る今後の電子図書館

林 杏 樹

学校図書館における「心の居場所」機能の必要性と

居場所づくりのための取り組み 山 本 雪

読書推進活動と学校図書館

「第二の場」から見る学校図書館の

新たなありかたを探る 森 翔太郎

西嶋ゼミナール

小学校英語教育における英単語学習型

ゲーミフィケーション教材導入について

大 橋 可 鈴

裁縫スキルを定着させるためのリメイクマニュアルの効果

——リメイク後の意識や関心の変化について——

春 日 悠太朗

食品表示の危険性と小学校教育 土 本 和 弥

大学生における性暴力の現状と予防教育 市 川 み な み

ダイケア送迎時の寄り道がもたらす効果

——コーヒープレイクを活用した

高齢者の〇〇「向上」に向けて—— 一 志 宇 良

育児・産後休暇制度利用者向けの

ワークシェアリングの提案 今 井 美 音

ぬり絵を使用した歯科医院での診療前の不安と

緊張緩和に対する提案 澤 崎 伊 織

心の病への理解を広めるためのカードゲーム案

高 田 美 咲

地方テレビ局によるアプリケーションの

インストール数を増やすための方策 中 嶋 和

中京大学における日本版ギャップイヤーの導入について

宮 本 萌 花

地上波放送を用いた投げ銭機能の効果について

——東海エリアの特色を例に—— 向 井 智 美

ファスト映画の新たな映画鑑賞様式への応用について

山 崎 綾 乃

高齢者向け限定条件付き運転許可カードの提案

——時間帯・ルート限定の運転許可カード制度——

山 本 紗 矢

スーパーマーケットの音環境における販売促進音声に

効果音を用いた場合の影響 湯 川 愛花音

平塚ゼミナール

日本酒の味覚を表すオノマトペ 湊 悠 生

多言語話者のライフストーリーから見る

言語習得の多様性 馬 場 温 子

関西出身者の移住と言語変容

井 上 由璃花

長野県松本市方言の世代差

小 林 健 斗

留学生の日本語学習環境について

——ライフストーリー・インタビューからの考察——

齊 藤 広 斗

SNS上でのフォリナートーク

長野県東信地区における文末表現「シナイ」について

鈴 木 楓 七

東三河方言の現在

堀 江 桃 香

広瀬ゼミナール

どのように役割語が身に付いていくのか 太 田 莉 紗

現代でもギリシャ神話が愛される理由 川 村 美 奈

愛される悪役たち 九 澤 李里花

フィクションがもたらす癒やしに関する考察

——「満月珈琲店」を例に—— 河 野 百 花

参加型受容者によるキャラクター・作品への影響

——ファンが作品を育てるとは—— 小 阪 美 月

人が聖地巡礼をする理由と聖地巡礼が及ぼす影響

小 柴 琳 寧

BLで世界は変わるのか

——差別とフィクション作品の関わり——

小塚 あさひ

花言葉における言葉の表現方法

——言葉の花に託す意味と効果—— 斉藤 佑奈

画像生成AIの表現と今後 滝川 花音

子ども向け番組におけるジェンダー意識の変化について

田中 沙莉亜

「千と千尋の神隠し」の魅力について

——歴史的ヒットの要因とは—— 辻 大成

Ytuberのキャラクター性と人間性から見る

Ytuberが愛される理由 長岡 つぐみ

アメリカンコミックス作品におけるヒーロー像

永瀬 芳

カプセルトイの大人向け化 水谷 夏乃

アジア文化が反映されたタイドラマと日本における

タイコンテンツの受容について 水野 唯音

漫画『PEANUTS』が長きにわたり愛される理由

宮坂 杏里

福井ゼミナール

源氏物語における生霊

——末摘花と六条御息所を比較して——

浅井 香帆

中国志怪伝奇における「虎」イメージ

——なぜ虎は恐ろしいのか—— 奥村 優利

犬イメージの変遷

——中古・中世の説話を中心に—— 平松 延章

死後世界の日中比較

——前世・現世・後世の関係性—— 松田 芽依

今昔物語集「道成寺物語」の成立史

——蛇に着目して—— 中川 凜

宮内ゼミナール

卒業ソングの歌詞の特徴

——1970年代から2020年代を比較して——

河本 有里

歌詞に見られる関西方言の特徴

領木 陽捺

副詞的成分「普通に」の用法分類

— X による使用実態調査を通じて —

井田 涼香

困難を表す「にくい」「づらい」の

話し言葉における使用実態

伊藤 舞花

back number の歌詞における心理描写の表現特性

太田 果南

高橋留美子作品のオノマトペ

岡田 美咲

新聞の見出しにおける紙面とWebの臨時一語の比較

菊地 正人

女性誌『GISELE』の見出し特徴調査

— 雑誌とWEBサイトを比較して —

瀧 栞里

若者がカラオケで歌う「懐メロ」の

歌詞に使用される語彙の分析

竹中 千尋

Xにおける「クナイ」の年代別使用実態調査

成畑 羽紗

補助動詞「得る」の発音と意味について

日野 啓真

皮肉表現「さすが」の使用実態調査

淵本 虹大

同意要求表現「動詞+クナイ」の使用実態について

前田 帆香

Xにおける「えぐい」の使用実態

水野 里菜

バラエティ番組における発話に伴う文字テロップの特徴

村若 亜由美

BCCWJを用いた「つつとしい」の類義語の意味分析

藪下 風夏

宮澤ゼミナール

インタビューの質問態度の違いによる

インタビューの情報の提示方法

伊藤 仁

コントにおける女性文末詞の使用傾向と年代ごとの推移

伊藤 愛菜

接客コンテンツから見る理想的な接客の言語的特徴

井上 颯太

アパレルECサイトのブランドコンセプトと

商品紹介文の関連

内山 碧

「きさらぎ駅」大衆化の経緯

蔭西 りんか

「なくていい」「なくてもいい」という

二つの類似表現における受け手の解釈の差

加藤 香音

日本語における「はい」の役割と挑発の効果について

北川 鷹斗

大阪方言を母語としない話者における共通語と

大阪方言的発話の談話における印象の違い及び

使用に対する受容の調査と分析 木村 洋斗

友人同士の雑談における話題転換の諸相 榊原 香奈

オンラインにおける3人の会話参加者の

あいづち表現の特徴 篠田 小寿々

歌詞からみる韓国ガールズグループのイメージの違い

鈴木 沙奈奈

男性アイドルグループSnow Manにおける

呼びかけ語と人間関係の相関 服部 楓香

大学生における呼称選択の許容度と性自認との関わり

水谷 優里

インディーズバンドのMCにおける

主題ととりまとめる表現の分析 宮坂 一汰

競馬実況における音声のみの実況と

映像と音声を使用した実況の比較 山路 和奏

漫才、コントにおける容姿いじり表現の変化

若狭 碧果

柳沢ゼミナール

『雪女』の類話比較と作中の雪女の役割について

大橋 圭介

『吉備津の釜』の磯良の人物像について 黒田 有紗

『深山草』の執筆方法

——『雨月物語』との比較にもとづいて——

田中 凌太

『桜姫全伝曙草紙』考

——『勸善桜姫伝』並びに引用書目を中心に——

松永 和真

安倍晴明伝承の伝播

——『篋篋抄』『安倍晴明物語』『しのだづま』の

比較を軸に—— 安江 勇人

狐忠信の恩愛が人間の親子関係に及ぼす影響

薬としての人肉食

山本芽依

——山田浅右衛門の製薬事業を中心に——

『宿直草』に登場する天狗像について

森山武輝

日比野来夢

遊女思想

小川ゼミナール

『熊野鬼ヶ城伝説』考

——環境と行動から読み解く——

深谷菜々子

——英雄譚の誕生と熊野地域の特性——

江戸時代の遊女の思考回路——

深谷菜々子

石川沙衣香

——鎖国確立期と幕末開国期の排耶書比較を中心に——

近世における聖地熊野信仰についての一考察

牧結菜

——『熊野観心十界曼荼羅』と

一揆物語『鴨の騒立』と渡辺政香

『那智参詣曼荼羅』を中心に——大島かえで

——三河加茂一揆における民衆思想——

松田純怜

江戸時代の猫絵からみる猫への意識の変遷

松田純怜

——歌川国芳の戯画による

『帖外御文章』——開版差止事件にみる西本願寺と尾張書林

三宅咲幸

『猫絵ブーム』の検討を中心に——田上聖和

三宅咲幸

江戸後期における疱瘡・麻疹と稲荷

虎澤祐貴代

国民作家 司馬遼太郎の思想

——春信・清長・歌麿を通じて——山崎未稀

——『坂の上の雲』の乃木希典描写から探る

小池ゼミナール

司馬が想った一九六〇年代——橋口桃子

小池ゼミナール

平安期におけるモノノケと呪詛

西村優花

「食国」がもたらす天皇の権威

阿部 玲 菜

小早川ゼミナール

将門・純友の乱が与えた影響と乱後の伝説・伝承の形成

成人式と成人意識

磯貝 航 介

——愛知県の事例を中心に——

石川 颯 晟

平安時代の「家」と養子

市川 華

犬との暮らし

平安時代後宮におけるキサキ・女房が与えた影響

——進展する家族化を中心に——

石原 柚 希

内海 穂 香

長草御殿万歳の継承問題について

井上 夕 姫

唐の宮廷社会における阿倍仲麻呂の位置づけ

祭りの継承を考える

神谷 威 瑠

——上名和祭りばやし保存会の事例から——

室町時代の大飢饉にみられる、「富の集中」という

小島 紗 弥

人為的要因について

川部 梨 乃

民家建築の活用と今後の課題

戦国期における忍びの実像

近藤 雪 乃

——文化財建築を事例に——

近藤 創 太

元正・孝謙を中心とした日本古代女帝の婚姻

和楽器の継承とその問題について

末久 美 月

笹原 茜 里

生体販売をめぐる民俗

宇佐八幡宮神託事件における首謀者と道鏡の真意

——猫を中心に——

中口 航 輝

藤井 佑 衣

豊川稲荷・大栄講

畠山氏分裂要因の再検討

——現状と継承の問題について——

林 健 太

——永正元年の和睦に着目して——

松岡 航 汰

サウナをめぐる民俗

——高齢男性のサイドプレイス——

古谷 碧 人

昆虫食の変化と現状

—— 日常食から食文化へ ——

峯村朋季

白根ゼミナール

徳川公儀の創出過程と諸大名

—— 浅野家を中心に ——

加藤瑞樹

江川英龍の建議書にみる海防と対外認識

久保川葵仁

近世初期における改易・転封と幕藩領国体制の再編

小西日々輝

長州藩における農兵論と奇兵隊

吉野将吾

政事総裁職松平春嶽をめぐる朝幕関係

渡邊一真

中元ゼミナール

春日一幸と政界再編

—— 「五五年体制」における第三極政党の実態 ——

相川息吹

近代における松坂屋のメディア戦略と催事の展開

—— 名古屋における三大博覧会の分析を中心に ——

岡田直澄

百貨店女店員と顧客との関係性

小川ゆき

野球王国愛知の発展と私鉄・新聞社の役割

奥田悠馬

宮中某重大事件における『読売新聞』の報道

及びその背景と目的

河村律輝

戦前期における蹴球の発展と政治的・外交的役割

鬼頭武蔵

昭和天皇・高松宮の皇族認識

沢田将聖

日本海軍における航空主兵論の台頭

—— 第一次世界大戦から ——

太平洋戦争開戦までを中心に —— 豊田雄輝

播磨ゼミナール

戦国大名と駿府浅間社支配

—— 特に流鏑馬神事を中心に —— 牛田亮介

豊臣政権システムと五大老・五奉行

—— 秀次事件から関ヶ原合戦に至るまで ——

大前亜里彩

刀狩令の公布対象と年代の考察

小野田航

織豊期における国産茶陶について

——瀬戸・美濃焼を中心に——

戸田詩織

信玄堤の目的について

——武田氏の治水政策をもとに——

外山元気

葛山氏について

鳥居郁哉

三好政権の実態

中島陽太

慶長遣欧使節

——なぜ政宗は幕府の禁教方針に反する

外交使節を派遣できたのか——永作駿輔

秀吉死後の豊臣政権での前田利長の立場の再検討

廣嶋那百太